

平成29年産 飼料用米（ミズホチカラ）栽培ごよみ

J A 福岡京築
京築普及指導センター

< 品種の特性 >

品種名	田植時期	出穂期	成熟期	耐倒伏性	いもち病	穂発芽性
ミズホチカラ	6.20	9.4	11.4	極強	極強	中
ヒノヒカリ	6.15	8.27	10.7	やや弱	やや弱	難

生産目標	
収量(籾重)	800kg/10a
m ² 当たり穂数	330本
m ² 当たり籾数	40,000粒
登熟歩合	70%
玄米千粒重	23.0g

月	5			6			7			8			9			10			11	
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中
生育ステージ	有効分げつ期						最高分げつ期	幼穂形成期			出穂期			成熟期						
栽培管理	育苗			田植え(6.20)			中干し			穂肥1 穂肥2			立ち毛乾燥							
				箱 除草剤散布			出穂前防除													

< 施肥基準 > (10a当たり)

(基肥と穂肥施用)

基 肥				穂肥1 ※	穂肥2 ※
全層施肥		側条施肥		硫安 (21-0-0)	硫安 (21-0-0)
AST化成444 (14-14-14)	発酵鶏糞 (ペレット状)	機械専用242 (12-14-12)	AST化成444 (14-14-14)		
60kg	300kg	60kg	55kg		

(基肥のみ)

全層施肥	側条施肥
えさ米専用一発25 (25-6-6)	
60kg	55kg

※安定収量確保のため施肥基準を守る。

- ・発酵鶏糞施肥の場合は、田植えの1週間程度前に施肥する。また、中干し時期までは浅水管理を行う。
- ・1回目穂肥は出穂前20日(幼穂長2mm程度)、2回目は1回目の7~10日後。
- ・省力施肥の場合は、えさ米専用一発25を施肥する。

< 病虫害防除 >

●育苗箱施肥

薬剤名	施用時期	施用量	対象病虫害
フェルテラチェス箱粒剤	移植3日前~当日	1箱当たり 50g	ウンカ類(縹葉枯病)、イネツトムシ、イネミズゾウムシ、コブノメイガ、フタオビコヤガ、ツマグロヨコバイ、ニカメイチュウ

●基幹防除(出穂前防除)

薬剤名	散布時期	施用量	対象病虫害
アプロードロムダン モンカットF粉剤DL	出穂前まで	3~4kg / 10a	紋枯病、ウンカ類、イネツトムシ、フタオビコヤガ

●補正防除

農薬名	病虫害名	散布量	散布時期
撒粉ポルドー粉剤DL ドイツポルドーA ラテラ粉剤 モンガリット粒剤	稲こうじ病	3~4kg / 10a 希釈倍率2000倍、散布液量60~150L 4kg / 10a 4kg / 10a	出穂20日前まで (※撒粉ポルドー粉剤DL、ドイツポルドーAは、出穂まで10日間を切ってから散布すると薬害が出ますので、注意してください)
アプロードバッサ粉剤DL	ウンカ類、ツマグロヨコバイ	3~4kg/10a	収穫7日前まで
キラップ粉剤DLまたは粒剤	ウンカ類、カメムシ類	3kg/10a	収穫14日前まで

※トビイロウンカの飛来が多い場合は補正防除を実施する(特に問題ない場合は出穂期以降の防除はできるだけ行わない)。

< 雑草防除 >

農薬名	使用量	散布時期
ガンガン1キロ粒剤	1kg/10a	移植時~30日以内 ノビエ3.0葉期まで
ウイナー1キロ粒剤51	1kg/10a	移植時~30日以内 ノビエ2.5葉期まで
サラブレッドKAI1キロ粒剤	1kg/10a	移植時~30日以内 ノビエ2.5葉期まで
サラブレッドKAIフロアブル	500ml/10a	移植直後~30日以内 ノビエ2.5葉期まで
サラブレッドKAIジャンボ	10パック/10a	移植直後~30日以内 ノビエ2.5葉期まで

※以下の除草剤は薬害が出ますので、使用しないでください。
クサトリ-BSXフロアブルL
クサトリ-BSXジャンボL
ポデーガードフロアブル
ポデーガードジャンボ
カービー1キロ粒剤
(その他ベンゾピシクロン、メソトリオン、テフリルトリオンという成分が含まれる除草剤は使用しないでください。)

除草剤の田植同時施用は、高温や圃場条件によって苗の活着や生育おくれなど影響を及ぼすことがあるので、使用上の注意をよく読んで利用してください。